

第6回 防災対策官民協働委員会議事概要

日 時	平成 24 年 11 月 27 日 (火) 13:30~15:30
会 場	佐渡市消防本部 2階 災害対策室
出席者	<p>民：小池正容委員長 佐々木隆正副委員長 岩崎政敏 隅田敏子 松永兼春 中嶋羊一</p> <p>官：本間聡（総務課） 中原岳（総務課） 菊池慎也（消防本部警防課）</p> <p>事務局：伊藤誠（社会福祉課） 秋場和久（総務課）</p>
議 題	<p>(1) 自主防災組織補助制度について</p> <p>(2) 災害時要援護者への支援体制について</p> <p style="margin-left: 20px;">① 災害時要援護者の安全確保計画について</p> <p style="margin-left: 20px;">② 災害時要援護者台帳について</p> <p style="margin-left: 20px;">③ 災害時要援護者支援方法について</p> <p>(3) 孤立可能性集落・高齢化（限界）集落への支援体制について</p>
議事概要	<p>(1)自主防災組織補助制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局で再度検討したところ<案2>で進めたい。 ・世帯数による不平等の緩和措置として、交付基準に「～50 世帯 10,000 円」を追加する。 <p>(2)災害時要援護者への支援体制について</p> <p style="margin-left: 20px;">①災害時要援護者の安全確保計画について</p> <p style="margin-left: 20px;">②災害時要援護者台帳について</p> <p style="margin-left: 20px;">③災害時要援護者支援方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害から要援護者を守る（避難等）ためには地域連携を図ることが大切ではないか。また事業所との連携も必要では。 ・避難に必要なリヤカーや担架を市から支給する制度を望む。地域の実情に応じ支給物品を選択性にするのが良いのではないか。 ・また、支給順位をつけることで限界集落への支援体制にもつながる。（限界集落等に優先的に支給する等） <p>(3)孤立可能性集落・高齢化（限界）集落への支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度の佐渡市内の限界行政区は 114 地区。（資料のとおり） <p>(4)その他</p> <p style="margin-left: 20px;">①次年度の委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆さんにおかれては平成 25 年度は進行管理役として引き続きご協力いただきたい。 ・年間 5 回程度を予定している。
今後の予定	<p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日までの委員会の協議内容をまとめ、報告書を市長に提出する。 ・その後、年が明けてから委員会を開催し委員の皆さんに内容を確認してもらおう。